

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
宇佐市	下庄地区 (下庄、新貝、布津部)	令和2年12月21日	令和 年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積(農業委員会の地区データを活用)	79.6ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	48.9ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	5.5ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	4.9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.3ha
(備考)	

2 対象地区の課題

下庄地区の中心経営体は、個人経営及び法人経営の認定農業者が主となっており、5年間は担い手も十分に大きな問題は生じないと考えられる。しかし、10年後を考えると後継者のいない担い手の面積が10haあり、規模拡大の意向のある担い手にスムーズに移行できるように準備していく必要がある。また、法人の構成員も高齢化するので、世代交代できるような準備をしておく必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

下庄の集落の農地利用は基本的には、現在主に耕作している認定農業者の個人及び法人に集約化していく。今後も、下庄地区の農地は人・農地プランに記載されている中心経営体に、地権者と耕作者と協議しながら集約していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向(5年後)		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法	A	米、WCS等	18 ha	米、WCS等	18 ha	
認農	B	米、WCS等	7.6 ha	米、WCS等	7.6 ha	
認農	C	米、麦等	3.7 ha	米、麦等	4 ha	
認農	D	米、麦等	3.5 ha	米、麦等	3.5 ha	
認農	E	米、WCS等	2.6 ha	米・麦・大豆	2.6 ha	
認農	F	肉用牛	繁殖35頭 肥育4頭	肉用牛	繁殖35頭 肥育4頭	
到達	G	米、WCS等	5.5 ha	米、WCS等	5.5 ha	
	H	米、WCS等	2.7 ha	米、WCS等	2.7 ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	8人		43.6 ha		43.9 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

アンケート結果では、農地の貸付意向の土地は4筆把握できている。今後についても、地区の集まり等の機会に行政区ごとに、地区の方に農地の貸付意向の確認を行う。

農地中間管理機構の活用方針

下庄地区は、将来の経営農地の集約化を目指し、農地の利用権設定をおこなう際には、農地中間管理機構を活用していく。

基盤整備への取組方針

下庄地区は、具体的な基盤整備の取組はすぐには考えていないが、水路の老朽や圃場の整備等の問題があるので、今後、行政区単位で基盤整備について検討を行う。

新規・特産化作物の導入方針

米、麦等の土地利用型作物が主になっている。今後、水稻の価格が低下することが予想されるので、収益性の高い園芸作目の導入も地区として考えていく必要がある。

災害対策への取組方針

近年、豪雨災害にて水田に多大な被害が出ているので、行政もまじえて対策を検討していく。